

最近もの忘れが増えてきた……
肥満や糖尿病などの生活習慣病かも……
親や家族の様子が少し変わった気がする……
そんな方に！！

◆ 検査内容 ◆

脳ドック、VSRAD、MCIスクリーニング検査、
認知機能検査、APOE遺伝子検査

◆ 検査対象 ◆

50歳～80歳までの方

◆ 検査料金 ◆

110,000円(税別)

◆ 専門医による認知症診断を行います ◆

“スペシャル認知症脳ドック”で あたまの健康チェック してみませんか？

早期発見で予防・治療へ！



◆ VSRADとは？

MRI検査を用いて記憶の形成・保持・再生をつかさどる”海馬傍回”付近の脳の萎縮度合いを診断する検査です。
アルツハイマー認知症では、海馬傍回付近の萎縮が最も早期にみられるのが特徴です。
コンピューターで正常脳のデータと照合・解析することによって、海馬傍回付近の**萎縮度合いを客観的に評価**します。

◆ MCIスクリーニング検査とは？

認知症の前段階とされる軽度認知症(MCI)を判定する血液検査です。
この検査ではアミロイドベータペプチドを排除する機能を持つ3つのたんぱく質を調べることで**MCIのリスクを判定**します。

◆ 認知機能検査とは？

“精神状態短時間検査”といわれるテストです。15分程度で11項目の質問を口頭で行うテスト(MMSE)、図形を描いたり、単語を覚えたりするテスト(MoCA-J)、日常生活面で必要とされる記憶を時間を置いた後に思い出すテスト(RBMT)を用いて**認知症の疑いを判定**することができます。

◆ APOE検査とは？

遺伝子型を調べて**アルツハイマー型認知症発症のリスクを判定**する血液検査です。
APOE遺伝子のε4の有無とアルツハイマー病発生の関係を調べると、ε4を全く持たない遺伝子に対してε4を1つないし2つ持つ方の発症リスクは3倍～12倍に高くなるといわれています。